

これほど これからは 岡高志



大田区議会議員 岡高志 大田区レポート

4月の区議会議員・区長の選挙を経た初回の定例議会において、私は民主党会派を代表して質問いたしました。3期目の松原忠義区長の公約を質したほか、私に寄せられたご意見をふまえた提言を行いました。一部をご紹介します。

公共施設の集約化（裏面ご参照）、羽田空港の跡地整備（裏面・下図ご参照）、産業立地・創業支援の充実～新規立地企業への補助制度新設、「イノベーション創造サロン」を設置、文化と芸術の振興～潜在的な文化・芸術資源の発掘を。

子育て世帯への経済的負担の軽減、特別養護老人ホームの増設、図書館のネット貸出・宅配（実費は利用者負担）、図書館へのカフェ設置 についても要望しました。

区長の答弁で示された基本方針をベースに、これからも引き続き掘り下げてまいります。



<羽田空港跡地概略図> 出典：大田区役所作成「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針(素案)」

なんでもご相談ください

毎月第2・4水曜日 午後4時～8時
法務・会計無料相談会 開催
(専門家を招いています・要予約)

<発行> 2015年7月1日 大田区議会議員 岡高志 事務所
〒145-0061 大田区石川町2-16-8-302 <http://okatakashi.net>
電話：03-6315-6209 E-mail: oka@okatakashi.net
メールマガジンも毎月配信しています。メールにてお申込みください。

空 港跡地整備

大田区と羽田空港の間には、戦後GHQ（連合国軍）により接収されて、空港敷地内に居住していた約3千人の住民が48時間以内の強制立退き命令により、着の身着のまま退去させられた悲しい歴史があります。そして、その後の騒音被害を受けて、空港が沖合に展開することとなりまして、遊休地（羽田空港の沖合展開に伴う「跡地」）が発生しています。

跡地は、過去の歴史を踏まえて大田区が取得すべきとの地元の民意があります。跡地のうち、第1ゾーンは大田区が、第2ゾーンは東京都が、第3ゾーンは空港関連施設として国が整備することとなりました。また、跡地は国有地であるので譲り受けるための公共的な利用目的を大田区は検討してきました。

（ゾーン配置など表面の図をご参照ください。）

今年6月に発表された「羽田空港跡地第一ゾーン整備方針（素案）」では、企業誘致・交流のほかは、クールジャパン発信拠点とする方針が示されています。産業交流施設一辺倒だった過去の方針に比較して、大田区らしさがなくなってしまっていると見受けられます。

大田区の製造業の付加価値を伸ばしていくのが見えなくなってきたなかで、大田区はどこまで空港跡地整備について旗を振り続けるのか、と区長に質したところ、

地元 大田区の区長として積極的に事業を推進していく

と答弁されました。

区民の利益にならない、空港跡地整備には、地元区として口だけ出して、金は出さないのがベターではないでしょうか。

蒲蒲線の鉄道新線計画が潰えた一方で、空港跡地整備に大田区が前のめりになって、分不相応な財政負担を負ってしまうことを私は危惧します。

公 共施設集約化

大田区の人口推計は25年後の平成52年で総人口は7%減るものの、老年人口は5万人増加、生産年齢人口は8万人減少します。タックスペイヤーである生産年齢人口が少なくなる財政バランスを踏まえて、行政コストのかさむ公共施設運営を再検討しようということで、「公共施設白書」を大田区で作成しています。

大田区の全ての公共施設への資本的支出は、年平均135億円必要となるが、今までの財政負担実績では62億円にすぎず、年間平均73億円不足するという分析結果にたどり着いています。

つまり、同じボリュームの公共施設を維持しようとするから、お金が足りなくなります。

出張所、老人いこいの家、文化センターなど、施設の集約化、さらには、学校の統廃合も必要になるでしょう。

そうした行政施設の集約化は、旧来の利用者とのしがらみが影響するだろうから、覚悟が必要であると質したところ、

施設の総量抑制に向けた取組を進める

と答弁されました。

私は物理的なハコの抑制にとどまらず、一つの施設を時間でシェアすること（高齢者は午前中、子どもは午後、青年は夕方以降といったタイムシェア）で、公共施設の物理的ボリュームをさらに小さくできると考えています。

岡 高 志 (おか たかし) プロフィール

- 2011年より大田区議会議員（民主党）
- 都市環境委員会 理事
- スポーツ・観光特別委員会 理事
- 1976年（昭和51年）3月生まれ 39歳
- 1999年 東京大学法学部卒業
- 信託銀行と投資会社に勤務
- 行政書士 社会福祉士
- 妻・子3人の 5人家族

～ ご意見・ご感想をおよせください～

お名前 男・女 (歳) TEL

ご住所 E-mail

【送信先】 FAX: 03-6315-6209 E-mail: oka@okatakashi.net